

科目名	電磁気学	英文表記	Electromagnetism I	H24年3月26日		
科目コード	4205					
教員名: 知念幸勇 技術職員名:				作成		
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
情報通信システム工学科	4年	必	学修	2単位	講義	通年
科目目標	電荷、電界、磁界、電流についての諸現象、基本法則を理解する。様々な電荷分布、導体構造、誘電体構造、電流分布や時間変化における電界・電位・磁界・電流などを求める計算力を身につけ、電磁気学の基礎を理解する					
総合評価	前期・後期評価: 定期試験(中間・期末)で100%評価する。 学年末評価は前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。					
達成度目標と評価方法	科目達成度目標		達成度目標の評価方法			
	①	電荷と電界、誘電体と静電容量、電流と磁界、電磁誘導などの電磁気学の基礎を理解し、各基本法則に関する式を導出できるよう	⇒	基礎問題・応用問題を正しく理解して計算できるかを定期試験で評価する。		
	②	電磁気学の基礎問題(教科書の例題など)が解けるレベルの基礎学力をつける。(A-4)	⇒	基礎問題・応用問題を正しく理解して計算できるかを定期試験で評価する。		
③	電気・電子工学の専門分野の資格・就職・編入試験等の電磁気学関連問題の70%程度を解ける学力がついている。(A-4)	⇒	応用問題を正しく理解して計算できるかを定期試験で評価する。			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	情報通信システム工学
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	A-2, A-4
授業概要、方針、履修上の注意	1. 本授業は電磁気の基礎に関して主に教科書を中心に講義する。 2. 電磁学の基礎原理を理解し、三角関数、微分・積分、微分方程式などの解法について理解するための応用数学についても講義する。 3. 演習問題を中心にした授業をおこない理解力を深める。 4. 静電容量、電磁誘導現象、磁気回路など、電気回路、電子回路などの科目と関連の深い分野を中心に授業をおこなう。 5. シミュレーションや実習なども加えて、理解を深める。					
教科書・教材	教科書: 電気磁気学(オーム社)、演習問題プリント					
授 業 計 画						
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		自学自習(予習・復習)内容	
1	電荷と電界1	1	電荷		プリント問題について復習する	
2	電荷と電界2	1	クーロンの法則		プリント問題について復習する	
3	電荷と電界3	1	電界		プリント問題について復習する	
4	電荷と電界4	1	電気力線と電界の強さ		プリント問題について復習する	
5	電荷と電界5	1	電束と電束密度		プリント問題について復習する	
6	電荷と電界6	1	ガウスの法則		プリント問題について復習する	
7	電荷と電界7	1	電位		プリント問題について復習する	
8	中間試験	2	週1~7の授業で学んだ内容について試験を行う			
9	電荷と電界8	1	電位と電界		プリント問題について復習する	
10	帯電体と電界1	1	直線導体		プリント問題について復習する	
11	帯電体と電界2	1	円柱帯電体		プリント問題について復習する	
12	帯電体と電界3	1	中空円筒		プリント問題について復習する	
13	帯電体と静電容量1	1	球		プリント問題について復習する	
14	帯電体と静電容量2	1	球導体1		プリント問題について復習する	
15	帯電体と静電容量3	1	球導体2		プリント問題について復習する	
期末	前期末試験	[2]	週9~15の授業で学んだ内容について試験を行う			
16	帯電体と静電容量4	1	三角関数、級数		プリント問題について復習する	
17	誘電体1	1	ガウスの法則		プリント問題について復習する	
18	誘電体2	1	電束密度		プリント問題について復習する	
19	誘電体3	1	電界エネルギー		プリント問題について復習する	
20	誘電体4	1	クーロンの法則		プリント問題について復習する	

21	電流と磁界1	1	磁気モーメント	プリント問題について復習する
22	電流と磁界2	1	アンペールの法則、ビオサバールの法則	プリント問題について復習する
23	中間試験	2	週16~22の授業で学んだ内容について試験を行う	
24	電流と磁界3	1	アンペールの周回積分	プリント問題について復習する
25	電流と磁界4	1	ファラデーの法則、レンツの法則	プリント問題について復習する
26	電磁誘導1	1	誘導起電力	プリント問題について復習する
27	電磁誘導2	1	自己インダクタンス	プリント問題について復習する
28	電磁誘導3	1	相互インダクタンス	プリント問題について復習する
29	電磁誘導4	1	磁気回路	プリント問題について復習する
30	磁性体	1	磁気回路	プリント問題について復習する
期末	後期末試験	[2]	週24~30の授業で学んだ内容について試験を行う	
学習時間合計		32	実時間	32.0
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
①	理解度を上げるため、授業で行った課題の復習を教室内で行う。時間は各授業の後半30分をあてる(実時間15時間)。更に予習のために教室外で(実時間43時間)の自学自習を課す			58時間
②				
③				
備考欄				
記入無し				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)